

# 史跡観光めぐり

はるかなる古刹を訪ねてらよつとぶらり  
歴史の面影に出会ったのしみ

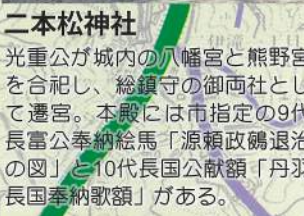
**鏡石寺 (天台宗)**  
江戸期に3・4・5代将軍の位牌を安置する御霊屋があったという。本堂裏に樹齢400年とする市指定のシダレザクラがある。



**光現寺 (曹洞宗)**  
鎌倉期の市指定「木造毘沙門天立像」を安置。山門前の境界石「不許軍酒入山門」は、名僧高泉和尚開山の旧珊瑚寺から移したもの。



**真行寺 (真宗大谷派)**  
少年隊士成田才次郎の突きを受け戦死した、長州兵隊長白井小四郎をねんごろに葬る。



**顕法寺 (浄土真宗本願寺派)**  
二本松城主加藤明利公の菩提寺。墓と位牌を守る。戊辰戦死の少年隊士、田中三治16歳の墓所。



**台運寺 (浄土宗)**  
2・6・7・9・12代将軍の位牌を安置。山頂に戒石銘碑発案の岩井田作非が眠る。戊辰戦死の少年隊士、久保豊三郎12歳・奥田午之助15歳・根来梶之助15歳・上崎鉄蔵16歳・中村久次郎17歳の墓所。



**正慶寺 (真宗大谷派)**  
大壇口の激戦で壮絶な戦死を遂げた、少年隊隊長木村銃太郎の墓所。享年22歳。



**善性寺 (浄土宗)**  
県指定「木造阿彌陀如来坐像」、市指定「木造阿彌陀如来立像」「木造釈迦涅槃像」を安置。二合田用水功勞の算学者、磯村文蔵が眠る。戊辰戦死の少年隊士、大桶勝十郎17歳の墓所。



**香泉寺 (時宗/無住)**  
畠山氏10代義国の墓と位牌があるとされる。境内に県内でも希少な露仏(濡れ仏)で市指定の「銅造阿彌陀如来坐像」を安置。



**法輪寺 (臨済宗/無住)**  
戊辰戦死の少年隊士、小沢幾弥17歳の墓所。明治期に衆議院副議長も務めた清康高潔な政治家で歌人の安部正磐根が眠る。



**龍泉寺 (曹洞宗)**  
最古刹(さいこさつ)。観音堂に県指定の秘仏「木造聖観音菩薩立像」を安置、また市指定の絵馬「双松観桜連中の図」と県内現存で最古の市指定の算額「龍泉寺観音堂の算額」がある。

**大隣寺 (曹洞宗)**  
丹羽氏の菩提寺。靈廟・墓所をはじめ少年隊供養塔、殉難者群靈塔など境内は荘厳。市指定の「丹羽氏歴代画像」など丹羽氏ゆかりの宝物を今に伝える。参道入り口には、少年隊副隊長階堂衛守戦死の地碑がある。享年33歳。



**称念寺 (時宗)**  
奥州探題職・畠山氏の菩提寺。本堂脇に南北朝末期造営という市指定「浮彫阿彌陀三尊来迎供養塔婆」を安置。



**凡例** ● 信号機 ☆ 桜名所 🏯 神社仏閣 🗿 旧町名碑

**蓮華寺**  
シダレザクラ推定樹齢約300年以上。本堂に向かって、右手の石垣上に立っている。根元周囲4.3m、目通り幹囲3.7m、樹高約12mの古木で昭和51年に市天然記念物に指定されている。

**鏡石寺**  
本堂裏には、推定樹齢約400年といわれるシダレザクラがあり、高さ10m。根周囲4.4m、目通り幹囲3.2m、枝張り二重の見事な重層樹形で平成元年市天然記念物に指定されている。

**本久寺**  
慶安2年(1649)日相和尚が開山。本堂南東に大きく傾斜した土手際に寛永20年(1643)植樹と伝える市指定天然記念物シダレザクラの古木がある。



安達ヶ原ふるさと村

**観世寺**  
謡曲や歌舞伎で有名な安達ヶ原には、鬼婆の住家であった「岩屋」、出刃包丁を洗った「血の池」などが今なお残っている。前の通りを川岸に沿って行くと老杉のもとに鬼婆を埋めた墓「黒塚」もある。



黒塚 岩屋(観世寺)